

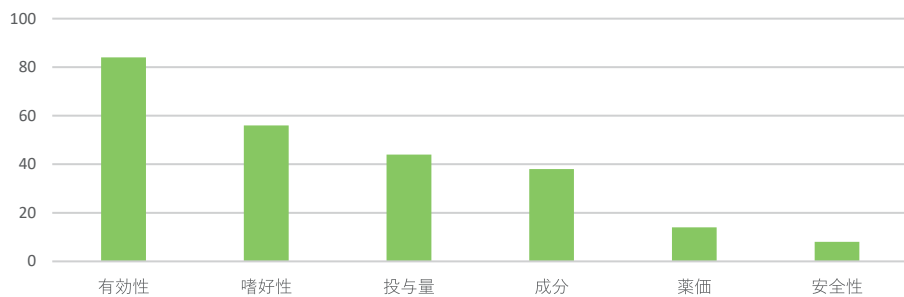
## ビスキノンレポート

Vol.3

ビスキノン末が33年ぶりにリニューアル！  
牛が好むミルクフレーバーで自発的な摂食を促します。  
ビスキノン末と比べ、投与量が少なくなったため、利便性が向上しています。

### Q1 動物用整胃腸薬に求めることは何ですか？

(畜産農家66件を対象にしたアンケート)

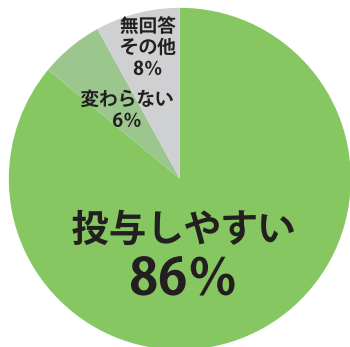


現場では、有効性に加え「嗜好性」「投薬量」などの  
**「利便性」**が求められています。

経口剤は団子状にして投与しますが、団子のサイズが大きいと投与が大変です。食欲がないと飲み込んでくれず、投与も一苦労です。  
(北海道内 30代牧場女性作業員)



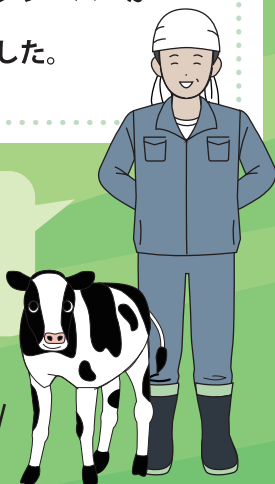
### Q2 ビスキノン散フレーバーは従来品と比べ投与しやすいですか？



**86%**の畜産農家がビスキノン散フレーバーが  
**投与しやすい**と回答しました。

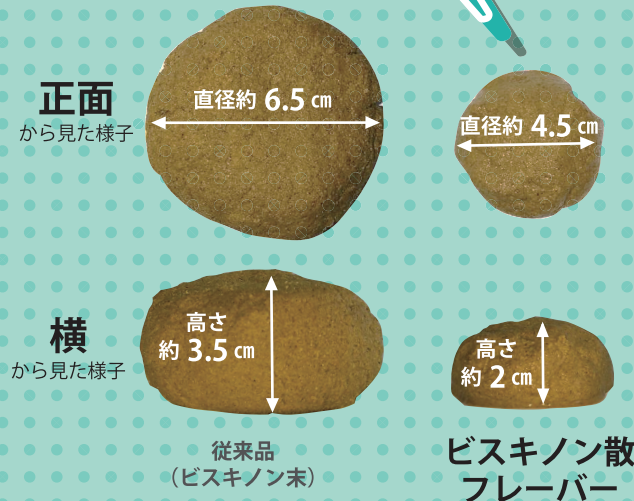
ミルクフレーバーがついているおかげで、警戒心を持たずに飲み込んでくれるようになりました。投与のストレスが減りました。  
(北海道内 40代牧場男性作業員)

おいしくなったモ♡



### 団子の大きさ

ビスキノン末と比較し、投与量が少なくなり、団子サイズが「小さく」なりました。



# ビスキノン散フレーバー臨床試験

(社内資料)

## 供試牛

動物：子牛50頭(黒毛和種25頭、ホルスタイン種25頭)  
年齢：生後0～4ヶ月齢  
症状：下痢

## 投与方法

1日2回、用法用量に従い経口投与(最大7日間連続投与)

## 併用薬剤

ビスキノン末以外の止瀉剤は使用しないものとし、駆虫薬、抗菌薬、生菌剤、補液などは必要に応じて使用した。

## 評価項目

下記項目を7日間観察した。

- 1 下痢の状態：正常便、軟便、泥状便、水様便の4段階で評価
- 2 改善日数：正常便に改善するまでの日数を評価

正常便



軟便



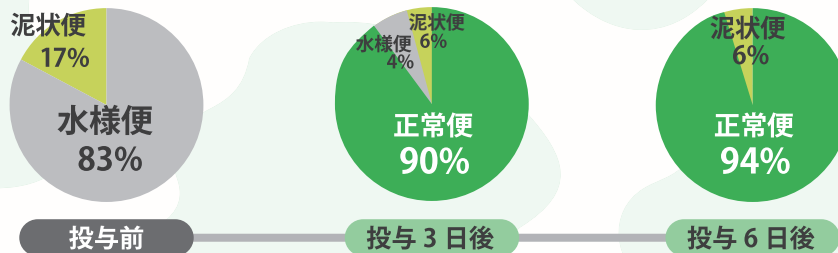
泥状便



水様便



## 1 ビスキノン散フレーバー投与前・投与3日目・投与6日目の糞便の改善の様子



## 2 ビスキノン散フレーバーを投与し、正常便に改善するまでの日数

90%の牛が3日以内、  
94%の牛が6日以内で正常便に改善しました。



## 従来品との比較

ビスキノン散フレーバーでは、濃縮処方にする事で投与量が減り、利便性がアップしました。4つの成分が胃腸全体に同時に作用するため、臨床効果も向上します。

新旧比較	ビスキノン散フレーバー	ビスキノン末
投与3日目の臨床効果	◎ 下痢改善率 90% <sup>1)</sup>	○ 下痢改善率 82% <sup>2)</sup>
嗜好性	◎ ミルクフレーバー	△ フレーバーなし
利便性	◎ 投与量少 300kg以上の牛で投与量 40g	△ 投与量多 300kg以上の牛で投与量 100～130g

1) 社内資料 2) 臨床獣医 2022年2月号

製造販売業者



リケンベツファーマ株式会社  
埼玉県入間郡越生町成瀬829-6

【製品情報・お問い合わせ先】

メール: riken@r-vets.jp  
電話: 03-5888-6044